

施策番号	5
------	---

施策評価シート（評価対象年度：令和2年度）

基本政策	1	子育て・教育・学び
施策名	5	生涯学習
10年後のまちの姿	<p>○あらゆる年代の市民が芸術に触れ、学ぶ意欲を満ちし、学んだことを生かしたり、発表したりすることができる場があるまちになっています。</p> <p>○こうした活動を通じて、生きがいや多世代とのつながりを持ち、豊かな人生を送る市民が増えています。</p>	
施策展開の基本的な考え方	<p>行政は、芸術に触れる機会や活動場所の確保、団体間の交流の促進、情報提供等の支援によって、市民が生涯学習活動に取り組みやすい環境づくりと自主的な活動の支援を行います。</p> <p>市民等は、芸術鑑賞や芸術活動を含めた多様な学習機会への積極的な参加や企画・運営への参画を通じて自ら学び、交流するよう努めます。</p>	
実現に向けた取組	<p>①市民が参加しやすい多様な学習機会の提供</p> <p>②市民による自主的な活動の育成・支援</p> <p>③活動拠点の整備</p>	
施策担当課・係	生涯学習課 社会教育係、文化・文化財係	
施策関係課・係		

I 施策の実施状況

1 施策全体の事業費

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費（千円）	145,391	138,314	153,914	236,622	
事務事業数	16	16	16	16	
うち、事務事業評価対象	15	15	15	15	

2 成果指標の達成状況

指標	単位	基準値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和3年度 中間目標	令和8年度 最終目標
生涯学習に関するイベント・市民講座実施回数〔年間〕	回	131	137	139	149	104		136	141
生涯学習に関するイベント・市民講座参加者数〔年間〕	人	23,700	19,750	20,528	21,646	17,399		24,200	24,700
月1回以上定期的に活動している生涯学習活動団体数〔年間〕	団体	60	89	71	73	73		65	70
成果指標による現状分析	<p>・イベント、市民講座実施回数及び参加者数については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により目標を超えることができなかった。</p> <p>・生涯学習活動団体数については、年度により増減があるが、現状において既に最終目標値を超える結果となっており、順調に進んでいると考える。次年度以降もこれを維持するよう取組を行う。</p>								

3 施策の進捗状況

達成度	○ 概ね順調
評価の理由	<p>イベント・市民講座実施回数及びイベント・市民講座参加人数については、R2年度はコロナ禍により大きく減少したが、それまでの進捗はおおむね順調であった。また、月1回以上定期的に活動している生涯学習活動団体数については、中間目標・最終目標ともに達成しており、順調であるとする。</p>

4 取組の状況と今後の方向性

① 市民が参加しやすい多様な学習機会の提供

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・音楽や美術等の芸術に触れる機会を確保するとともに、イベントや市民講座を継続して開催します。 ・専門知識や特技を持った市民、学校、市内の企業やNPO等の団体と連携し、文化財、高齢福祉等各種分野の取組を巻き込んで、イベントや市民講座の魅力向上や対象年齢の拡大を図ります。 ・イベントや市民講座は、できるだけボランティア等の地域の協力者を巻き込んで実施し、そのボランティアをきっかけに生涯学習活動に参加する人が増えるよう努めます。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習に関するイベント・市民講座については、コロナ禍により数値が落ち込んでしまいましたが、それまでは中間目標値・最終目標値を超える結果となっている。また、イベント、市民講座の参加者については中間目標に向け着実な進捗状況となっている。 ・昆虫の家、図書館、美術館では、ボランティア等の協力者を巻き込みイベントを実施しているが、他の事業についてはキャリア教育推進事業の一環である「子どもハローワーク」による市内小中学校児童生徒のボランティア参加にとどまっている。(図書館は読み聞かせ、昆虫の家、美術館はイベント時の応援や施設環境整備のボランティア)
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・R2年度を除けば、イベントや講座の開催回数及び参加人数については、中間目標、最終目標を既に達成済み、また、達成していない指標については目標に向け順調に伸びている。今後も参加人数の目標を達成・維持するため、市民のニーズを的確に捕らえ、魅力あるイベントや市民講座を計画し開催するよう努める。 ・近隣市町村と連携を図り、その人材バンクも活用することで専門知識や特技を持った人材を活用し、イベントや市民講座の魅力向上や対象年齢の拡大を図りつつ、今後はR3年度に市独自の人材バンクの運用開始をする。 ・ボランティアについては、昆虫の家、図書館についてはボランティアの協力を得た中でイベントを実施しており順調といえるが、子どもハローワークについては、児童生徒の参加も少ないので魅力あるアピール方法を考えなければならない。

② 市民による自主的な活動の育成・支援

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・自らの知識や特技を生かして市民講座を開きたい人、市民講座後も自主的に学習を継続したい人、地域で作品展を開きたい人等“活動したい人”を募って活動場所の紹介、仲間集めの助言、広報の手伝い等の支援を行います。 ・活動の目標ともなる成果発表の場や他団体とノウハウを共有する機会となる場を設ける等生涯学習団体が活動を続けやすい環境を整備します。 ・市民による様々な活動や講師等の情報をデータベース化し、市民が気になる活動を見つけ、参加しやすい環境を整えるとともに、市民の参加や活動団体同士の交流を促すコーディネーターを配置して、ある時は参加者が主催者や講師となり、またある時は講師が運営を支える裏方となるような循環型の生涯学習社会の実現を目指します。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育認定団体などに対して、文月コンサートや生涯学習フェスティバルなどを開催することで、成果発表の場、他の団体との連携・つながりの場の提供に加え、社会教育委員にも参画してもらい、団体相互の情報交換の場を提供し、団体活動の活性化と継続支援、環境整備を行なった。 ・新潟広域都市圏の連携事業で近隣市町村間でR3年度より講師等のデータベースを活用できるよう人材バンクの整備と連携に向け取り組んだ。
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も生涯学習フェスティバルの開催を継続することで、団体の活動成果の発表の場を提供し、活動の活性化の支援を続けるが、その開催期間について他のイベント等の日程調整も難しくなり、長期化していく傾向にあることから、今後は開催期間を含めた新たな開催方法について検討の必要がある。 ・今後も社会教育委員にも参画してもらい各利用団体の代表が集まる機会を設け、情報交換などを行うことで各団体間の連携、つながりの場を提供し、団体活動の活性化支援を行う。

③ 活動拠点の整備

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習をはじめとする市民活動の拠点にふさわしい機能を確保するため、施設の老朽化対策の中で施設内容を充実させる建替えや改築、相乗効果を生み出す施設の集約化も考慮しながら適正配置等を検討します。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した中央公民館、図書館の施設整備については、庁内プロジェクトチームにおいて検討を行うとともに、社会教育委員、図書館協議会委員、小・中・高・大学教諭等、公民館施設利用者、読み聞かせボランティアなどで構成される市民等参画した検討委員会を立ち上げ、検討委員会を3回、市民参加型ワークショップを3回、先進地視察を1回行い、両施設を併せた複合施設の整備について検討を行った。
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も生涯学習複合施設について庁内での検討を継続するとともに市民との協働により、その概要をまとめることを目指す。 ・産業文化会館については、大規模改修を計画的に進める。老朽化及び耐用年数を超える部分の改修について、市民及び利用者に対し説明が必要である。 ・公民館施設等は、老朽化が進んでいる施設が多いので、維持修繕を計画的に行う。

5 施策の今後の方針

施策方針	○ 維持
施策方針に関する説明	R2年度のコロナ禍による落ち込みを除けば、ほとんどの事業が、その達成度から判断するとおおむね順調に進んでいることから、今後も最終目標の達成に向け継続して事業に取り組む。市民が参加しやすい多様な学習機会の提供を軸とし、重点を置きながら市民による自主的な活動の育成・支援も継続していく。あわせて新たな活動拠点として生涯学習複合施設の整備についても検討を重ねていく。

II 施策を構成する事業等

事業 コード	事務事業名	R2 事業費		R3 当初予算額		達成度	施策目標 に対する 貢献	今後の 方向性	主な事業	担当課
			うち 一般財源		うち 一般財源					
150110	文化活動促進事業	44	4	73	31	×	×	③		生涯学習課
150111	陶芸研修所管理事業	1,801	1,607	2,424	1,727	×	×	③		生涯学習課
150211	公民館文化振興事業	440	440	3,693	2,684	×	×	③	○	生涯学習課
150112	産業文化会館事業	115,404	33,839	623,170	85,787	△	○	①	○	生涯学習課
150113	鉱物・陶芸館運営事業	6,389	5,374	7,016	5,709	△	△	③		生涯学習課
150114	胎内自然天文館運営事業	12,989	11,964	11,973	10,265	△	○	③		生涯学習課
150115	昆虫の森運営事業	9,760	2,584	20,954	3,861	◎	○	②		生涯学習課
150116	市民講座学級事業	351	296	863	823	×	×	③		生涯学習課
150117	図書館管理事業	24,610	24,497	23,557	23,454	△	△	③		生涯学習課
150118	環境改善センター管理運営事業	12,024	7,150	12,024	7,150	△	△	③		生涯学習課
150119	一般経費中央公民館	9,571	9,207	8,583	8,166	△	△	③		生涯学習課
150120	一般経費黒川地区公民館	12,774	9,572	8,737	8,601	△	△	③		生涯学習課
150121	乙地区交流施設管理運営事業	5,813	5,783	5,278	5,200	△	△	③		生涯学習課
150210	社会教育振興事業	625	625	933	933	○	○	③		生涯学習課
150212	生涯学習フェスティバル事業	298	298	492	492	×	×	③		生涯学習課

事務事業評価シート（評価対象年度：令和2年度事業）

事業コード	150110		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者			
事務事業名	文化活動促進事業		事業年度	令和2年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	15	生涯学習	予算科目	款	10	教育費
施策	5	生涯学習		中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項	06	社会教育費
				小	10	文化活動促進事業		目	04	公民館費
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意			関連条例	関連計画		胎内市教育振興基本計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	公民館まるごとクリスマスや文月コンサートなどの事業を通じて市民に文化活動の場を提供するとともに、参加者同士の交流の場とする。
主な実施内容	・公民館まるごとクリスマスの開催（12月） ※文月コンサートについては新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	◎	○	○	×	
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、公民館まるごとクリスマスについては無料の講座を開催しなかったこと、また文月コンサートは中止したことによって参加者数が減った。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

公民館まるごとクリスマスについては無料の講座の充実をはかり参加者の増加につなげる。

2 事業費の状況（※平成29年度～令和2年度は決算額、令和3年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	65	69	62	44	73	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	
その他	33	35	32	40	42	
一般財源	32	34	30	4	31	
人件費（千円）	401	412	420	278		
正(h)	178	180	180	119		
※事業費 会計年度 任用(h)	88	92	92	58		
総事業費+人件費	466	481	482	322		
財源「その他」内訳	学級講座等参加費 40千円					
事業費の主な支出内容	消耗品費 44千円					
単位コスト	算出方法	参加者1人あたりのコスト 事業費（一般財源）+人件費/参加者				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		684円	901円	920円	2,104円	

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	①公民館まるごとクリスマス講座数 ②文月コンサート参加団体数	①公民館まるごとクリスマス講座数 ②文月コンサート参加団体数	①クリスマス開設講座数 ②文月コンサート参加団体数	①クリスマス開設講座数 ②文月コンサート参加団体数	①クリスマス開設講座数 ②文月コンサート参加団体数
	目標	①8講座 ②10団体	①8講座 ②10団体	①8講座 ②10団体	①8講座 ②10団体	①8講座 ②10団体
	実績	①9講座 ②8団体	①9講座 ②8団体	①9講座 ②10団体	①8講座 ②0団体	
成果指標	名称	講座とコンサートの参加者数	講座とコンサートの参加者数	講座とコンサートの参加者数	講座とコンサートの参加者数	講座とコンサートの参加者数
	目標	500人	500人	500人	500人	500人
	実績	633人	495人	489人	134人	
	目標比	126.6%	99.0%	97.8%	26.8%	

6 事業の課題

文月コンサートにおいて、参加してくれる音楽団体が固定化している。

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	③	③	③	
<ul style="list-style-type: none"> ・文月コンサートについては、出演団体が固定化しつつあるので、音楽団体に出演依頼を引き続き行い、参加者の増加につなげる。 ・音楽団体以外の団体が活動の成果を発表、披露する機会を作る。 ・また得た知識を家庭や地域へ持ち帰り還元させる意識作りに取り組む。 ・子どもたちが今、どのようなことに興味を持ち、関心を示しているのかを把握し教室のリニューアルにつなげる。 					

8 二次評価委員会所見

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	④	②	①	
	維持	⑤	③		
	縮小	⑥			
	休廃止	⑦			
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和2年度事業）

事業コード	150111		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者			
事務事業名	陶芸研修所管理事業		事業年度	令和2年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	15	生涯学習	予算科目	款	10	教育費
施策	5	生涯学習		中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項	06	社会教育費
				小	11	陶芸研修所管理事業		目	07	陶芸研修所管理費
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意			関連条例	胎内市陶芸研修所条例	関連計画	胎内市教育振興基本計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	陶芸を通じて、芸術活動に親しんでもらうことを目的に陶芸講座を開催し、参加者同士の交流や親睦をはかる。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 陶芸講座の実施（年3回 春・夏休み（親子）・秋） 陶芸作品展の開催 陶芸研修所維持管理
実施方法	市が直接実施＋委託

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	○	○	○	×	
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、春の陶芸教室と作品展、おしゃべりカフェを催行中止とし、催行した夏休み親子教室、秋の教室についても参加者数を制限して開催したため達成度は低くなった。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

<ul style="list-style-type: none"> 陶芸研修所敷地管理（草刈り）を参加者と協働で実施 陶芸作品展期間内で交流や親睦をはかる場を企画 R1から学校で実施する陶芸学習授業をやめ、親子を対象とした陶芸教室を開始した。（陶芸学習事業を統合） 受益者負担の見直しを実施（参加費 H29まで0円、H30から1,000円、R2から2,000円）
--

2 事業費の状況（※平成29年度～令和2年度は決算額、令和3年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	2,005	2,012	2,373	1,801	2,424	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	
その他	681	666	764	194	697	
一般財源	1,324	1,346	1,609	1,607	1,727	
人件費（千円）	276	278	285	284		
正(h) ※事業費	150	150	150	150		
会計年度 ※事業任用(h)	0	0	0	0		
総事業費＋人件費	2,281	2,290	2,658	2,085		
財源「その他」内訳	材料費 148千円 参加費 46千円					
事業費の主な支出内容	陶芸講座指導委託料 993千円 消耗品費 91千円 燃料費 264千円 光熱水費 144千円 修繕費 107千円					
単位コスト	算出方法	参加者一人あたり収支（事業収入－総事業費（業務委託料除く））/参加者数				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		622.9円	1,247円	708.8円	△15,350円	

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	陶芸講座回数	陶芸講座回数	陶芸講座回数	陶芸講座回数	陶芸講座回数
	目標	4回	4回	5回	5回	5回
	実績	4回	4回	5回	3回	
成果指標	名称	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数
	目標	180人	180人	180人	180人	180人
	実績	134人	121人	158人	40人	
	目標比	74.4%	67.2%	87.7%	22.2%	

6 事業の課題

参加者の大半がリピーターであるので、参加人数を増やすためには新規の参加者を増やす必要がある。
--

7 課題解決に向けた今後の取組

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
今後の方向性	②	②	③	③	
参加者の大半がリピーターを占めるため、新規の方の紹介等周知をお願いし、陶芸の魅力を広めていく。講座参加者による作品展と講師を招いた交流の場を企画し、参加者の創作意欲の増進を図る。					

8 二次評価委員会所見

今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
	削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和2年度事業）

事業コード	150211		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者			
事務事業名	公民館文化振興事業		事業年度	令和2年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	15	生涯学習	予算科目	款	10	教育費
施策	5	生涯学習		中	02	市民による自主的な活動の育成・支援		項	06	社会教育費
				小	11	公民館文化振興事業		目	04	公民館費
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意			関連条例	関連計画	胎内市教育振興基本計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市民が文化・芸術活動を発表する機会や親しむ機会を提供することにより、文化・芸術活動の振興を図る。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・美術展覧会の開催 ・ジュニア美術展覧会の開催 ・県展開催
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	◎	◎	◎	×	
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	新型コロナウイルス感染症の影響で、市美術展・ジュニア美術展・県展が止むを得なく開催中止となり、次年度へ延期となった。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

[H29]	・開催期間中に周辺道路にのぼり旗を設置し、来場者にPRした。
[H30-31]	・出品の少ない部門については、初心者日本画教室を開催した。

2 事業費の状況（※平成29年度～令和2年度は決算額、令和3年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	1,787	1,645	1,648	440	3,693
国・県支出金	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	168	150	129	0	1,009
一般財源	1,619	1,495	1,519	440	2,684
人件費（千円）	902	909	1,253	1,175	
正(h)	490	490	660	620	
※事業費 会計年度 任用(h) ※事業費	○	40	40	50	10
総事業費+人件費	2,689	2,554	2,901	1,615	
財源「その他」内訳	消費品費 273千円 写真コンテスト共催負担金 80千円				
事業費の主な支出内容	消費品費 273千円 写真コンテスト共催負担金 80千円				
単位コスト	算出方法				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度

6 事業の課題

出品者の高齢化で創作活動を続けることが困難になっている人もおり、創作活動を行う人が減少傾向にある。

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	美展開催日数	美展開催日数	美展開催日数	美展開催日数	美展開催日数
	目標	4日間	4日間	4日間	4日間	4日間
	実績	4日間	4日間	4日間	0日間	
成果指標	名称	美展来場者数	美展来場者数	美展来場者数	美展来場者数	美展来場者数
	目標	2,100人	2,100人	2,100人	2,100人	2,100人
	実績	2,381人	2,872人	2,708人	0人	
	目標比	113.4%	136.8%	129.0%	0.0%	

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	③	③	③	
<ul style="list-style-type: none"> ・特に出品の少ない部門は、自主学習グループとして初心者日本画教室、彫刻講座など各公民館で活動して底辺拡大を目指している。 ・各部門の公民館利用団体の代表及び近隣高校等へ市展開催の周知を行い出品者の拡大を図る。 					

8 二次評価委員会所見

二次評価委員会所見					
-----------	--	--	--	--	--

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和2年度事業）

事業コード	150112		担当課	生涯学習課	担当係	文化・文化財係	担当者			
事務事業名	産業文化会館事業		事業年度	令和2年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	15	生涯学習	予算科目	款	10	教育費
施策	5	生涯学習		中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項	06	社会教育費
				小	12	産業文化会館事業		目	05	産業文化会館費
事務区分	法定受託事務		〇	根拠法令						
	法令による義務付け			関連条例	胎内市産業文化会館条例		関連計画	胎内市教育振興基本計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	・市民の生涯学習の推進及び文化振興と芸術意識の高揚を図り、心を豊かにすることを目的とし、自主事業を実施する。
主な実施内容	・会館自主事業の実施 ・会館維持管理
実施方法	市が直接実施+委託

2 事業費の状況（※平成29年度～令和2年度は決算額、令和3年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	60,513	48,731	63,686	115,404	623,170	
国・県支出金	0	0	0	40,916	0	
地方債	13,600	7,100	23,500	37,500	526,300	
その他	6,179	6,322	6,526	3,149	11,083	
一般財源	40,734	35,309	33,660	33,839	85,787	
人件費（千円）	1,804	1,819	1,861	1,857		
正(h) ※事業費	980	980	980	980		
会計年度 ※事業任用(h) 業費	0	0	0	0		
総事業費+人件費	62,317	50,550	65,547	117,261		
財源「その他」内訳	使用料1,446千円 入場料39千円 管理費負担金(商工会)1,664千円					
事業費の主な支出内容	施設整備工事 80,836千円 施設管理業務委託 14,080千円 光熱水費 5,927千円 舞台各種設備保守点検業務委託 4,312千円 空調衛生設備保守点検業務委託 3,174千円 自主事業公演委託 154千円 施設改修工事設計委託 2,035千円 修繕費 513千円					
単位コスト	算出方法	入場者1人あたり運営コスト (総事業費※+人件費)/入場者数 ※工事費・設計費を除く				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		468円	550円	554円	1,243円	

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数
	目標	310日	310日	310日	310日	310日
	実績	308日	308日	284日	283日	
成果指標	名称	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数
	目標	70,000人	70,000人	70,000人	70,000人	20,000人
	実績	80,286人	71,245人	71,108人	27,660人	
	目標比	114.7%	101.8%	101.6%	39.5%	

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	◎	◎	◎	△	
評価の理由	来場者数についてはコロナウイルス感性症による休館や、貸館の制限、催し物の自粛等により、大幅に減少し目標を達成することができなかった。自主事業に関しても、計画していた事業の半数が中止となり集客に繋がらなかった。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

[H30]
・ホール系統の空調用冷却塔の取替工事・冷温水発生機改修工事を行った。
[R1]
・舞台照明調光操作卓更新工事を行った。
[R2]
・空調設備（GHP）更新工事・中央監視装置更新工事・トイレ改修工事を行った。
【R1 実施事業】
・NHK「わたしの尾瀬」写真展
・チューリップ寄席（中止）
・映画GOZE特別上映会
・ピアノデュオ新崎姉妹（中止）
・YUSHIイリュージョンショー（中止）
・文化庁 優秀映画鑑賞推進事業 シネマパラダイス「名作映画上映会」2日

6 事業の課題
・長寿命化計画をもとに、令和3年度には外壁や屋上防水の更新工事、令和3～令和4年度にかけて建築基準法の改正に伴うホール天井の耐震化と、老朽化の進んだ舞台・音響・照明設備などの大規模改修を予定しているため、令和4年度については多目的ホールの使用ができないことになる。

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	③	①	①	
・築25年が経過し建物および設備の老朽化が著しい。長寿命化計画をもとに危険性の高い設備から計画的に改修を進める必要がある。 ・来年度の自主事業については、ホール改修のためホールイベント以外の事業を企画していく。 ・今後の管理運営に関しては、指定管理制度と併せ直営又は委託を精査する。					

8 二次評価委員会所見

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和2年度事業）

事業コード	150113		担当課	生涯学習課	担当係	文化・文化財係	担当者			
事務事業名	鉱物・陶芸館運営事業		事業年度	令和2年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	15	生涯学習	予算科目	款	10	教育費
施策	5	生涯学習		中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項	06	社会教育費
				小	13	鉱物・陶芸館運営事業		目	09	鉱物・陶芸館費
事務区分	法定受託事務		〇	根拠法令						
	法令による義務付け			関連条例	胎内市粘土・鉱物体験資料館及び陶芸体験館条例	関連計画	胎内リゾート活性化マスタープラン			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	収集した日本と世界の鉱物、粘土とそれに関連した資料の展示と解説のほか、鉱物・粘土の学習指導や天然石を素材にしたアクセサリー作りと陶芸の体験教室を実施する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設の運営管理 体験教室及び出張教室の実施
実施方法	市が直接実施＋委託

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	△	△	○	△	
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	目標値3,000人に対し実績は2,357人で、78.6%であった。コロナ禍によりGWを含む4～5月を休館したことの影響が大きいと言えるが、月毎では前年を上回った月が多く、この点はコロナ禍の特殊な条件のせいとも考えられるものの、悪い結果ではないと言える。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

<ul style="list-style-type: none"> 常設展示を一部新設 企画展示を実施 開館日数減により施設管理委託料を削減（R1） 4月～11月に日を決めて、天然石・アクセサリー作り体験及び化石・鉱物解説案内を実施した。
<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度より開館日を土日・祝日及び夏休み期間のみに変更した結果、効率は改善されたが学校との連携や平日の団体利用の希望などを受け入れにくくなっており、柔軟な対応が可能になるよう体制を考える必要がある。 現在の専門員はすでに高齢であり、若い専門員を必要としている。

2 事業費の状況（※平成29年度～令和2年度は決算額、令和3年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	7,627	7,990	6,529	6,389	7,016	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	
その他	1,239	1,338	1,197	1,015	1,307	
一般財源	6,388	6,652	5,332	5,374	5,709	
人件費（千円）	147	148	152	152		
正(h) ※事業費	80	80	80	80		
会計年度 ※事業費任用(h)	0	0	0	0		
総事業費＋人件費	7,774	8,138	6,681	6,541		
財源「その他」内訳	入館料 340千円、アクセサリー体験 282千円、陶芸体験 209千円、売店収入 183千円					
事業費の主な支出内容	施設管理業務委託 4,852千円 光熱水費 591千円 消耗品費 260千円 施設管理保守点検委託 277千円 印刷製本費 103千円 売店材料 84千円 通信運搬費 66千円					
単位コスト	算出方法	①利用者一人当たりにかかるコスト（総事業費＋人件費／利用者数） ②利用者一人当たりの収支（（事業収入－（総事業費＋人件費））／利用者数）				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		①2,443.9円 ②-2,054.4円	①2,800.4円 ②-2,340円	①2,569.6円 ②-2,109.2円	①2,775.1円 ②-2,344.5円	

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数
	目標	207日	209日	105日	105日	105日
	実績	203日	203日	104日	83日	
成果指標	名称	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数
	目標	4,400人	4,600人	3,000人	3,000人	3,000人
	実績	3,181人	2,906人	2,600人	2,357人	
	目標比	72.3%	63.2%	86.7%	78.6%	

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	⑤	⑤	③	③	
<ul style="list-style-type: none"> 利用状況に応じた開館日に見直して効率的な運営を行うことで、経費の削減を図っている。令和元年度より開館日を土日・祝日及び夏休み期間のみに変更した。 様々な改善に取り組みつつあったものの、魅力的な展示への更新、積極的なPRなどを必要としている。鉱物採集ツアーの人気から一般市民の鉱物への関心、ニーズはあると思われる。 令和元年度からの開館日数減により、算出指標の目標値を105日、成果指標の目標値を3,000人とした。 令和3年度より、日本自動車連盟（JAF）会員向けに入館料の優待割引を開始した。施設のPRのほか、有料の体験メニューへのハードルが下がるなどの効果が期待できる。 					

8 二次評価委員会所見

今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
		削減	縮小	維持
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和2年度事業）

事業コード	150114		担当課	生涯学習課	担当係	文化・文化財係	担当者			
事務事業名	胎内自然天文館運営事業		事業年度	令和2年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	15	生涯学習	予算科目	款	10	教育費
施策	5	生涯学習		中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項	06	社会教育費
				小	14	胎内自然天文館運営事業		目	10	文化教育交流促進施設費（胎内自然天文館）
事務区分	法定受託事務		〇	根拠法令						
	法令による義務付け			関連条例	胎内市文化教育交流促進施設条例	関連計画	胎内市教育振興基本計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	農山村の自然・天体知識及び科学教育の啓発のため、館内の展示案内を行うほか、定期的に天体観察等の教育普及事業を行う。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自然や天文について紹介するとともに解説や学習指導・体験活動により自然保護に対する理解を図る。 ・望遠鏡及び双眼鏡を活用し、昼間・夜間の観望会や出前教室を行う。 ・施設管理をする。
実施方法	市が直接実施+委託

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	△	○	○	△	
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止により開館が約2か月遅れたことにより、利用人数、利用日数、利用料金が減少するなどの影響があった。 ・夏の一大イベントである「胎内星まつり」が無観客開催であったため、8月の利用者も大きく落ち込んだ。 				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

<ul style="list-style-type: none"> ・屋外イベントは、天候不順による当日キャンセルや中止になるケースが多いため、天候に左右されない屋内イベント「親子天文教室」を予定した定員で開催でき、普段天文館に来館しない層からの参加（市外親子づれ）につながった。 ・SNSを使った投稿や新潟県立自然科学館とのホームページ相互リンク、インターネットライブ配信により天文館を広く周知することができた。
<p>【R2 実施事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期・特別観望会の実施 ・望遠鏡づくり ・星空のヨガ ・大人の工作室 ・街角観望会

2 事業費の状況（※平成29年度～令和2年度は決算額、令和3年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	11,326	11,104	11,753	12,989	11,973	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	
その他	1,248	1,838	1,630	1,025	1,708	
一般財源	10,078	9,266	10,123	11,964	10,265	
人件費（千円）	1,178	1,188	1,215	1,213		
正(h) ※事業費	640	640	640	640		
会計年度任用(h) ※事業費	0	0	0	0		
総事業費+人件費	12,504	12,292	12,968	14,202		
財源「その他」内訳	使用料 598千円 売店収入 405千円					
事業費の主な支出内容	施設管理業務委託料 6,901千円 施設管理保守点検委託 1,813千円 光熱水費830千円 施設整備工事 770千円 売店材料 418千円 消耗品費 337千円 修繕費468千円 講師等謝礼50千円 保険料122千円 通信運搬費 116千円					
単位コスト	算出方法	(総事業費+人件費)/入場者数				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		2,109円	1,573円	1,899円	3,137円	

6 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・天文館は、天候に恵まれない状況でも展示物及び説明映像のみの見学が可能だが、同館の主な用途は天体観測であることから、入館者数はどうしても天候に左右される。 ・天文館の立地条件や公共交通機関がないことから、交通手段を持たない層の誘客が見込めない。

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	営業日数	営業日数	開館日数	開館日数	開館日数
	目標	200日	200日	200日	200日	200日
	実績	203日	204日	207日	178日	
成果指標	名称	入場者数	入場者数	利用者数	利用者数	利用者数
	目標	10,000人	10,000人	8,000人	8,000人	8,000人
	実績	6,009人	7,814人	6,816人	4,282人	
	目標比	60.0%	78.0%	85.2%	53.5%	

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	③	③	③	
<ul style="list-style-type: none"> ・曇天や小雨でも開催可能な自然や生物に焦点をあてた自然観測会のプログラムを企画し、天文館のPRと市内外からの新しい層の集客を図る。 ・コミュニティ放送FMしばたの天文系新番組を担当し、宇宙や天体の魅力を伝え、天文館やイベントの周知・誘客を図る。 ・悪天候で観望会ができない場合のことを考えて、あらかじめ好条件時にカメラやビデオで録画しておき、来館者に視聴してもらう。また、新型コロナウイルスの影響で開館できない場合は、YouTubeにより配信を行う。 ・ホールの常設展示については、季節に合わせた装飾や雰囲気作り、天文情報等のパネルの展示など定期的に更新し、飽きさせない工夫をする。 					

8 二次評価委員会所見

成果の方向性	今後の方向性				
	拡充	④	②	①	
	維持	⑤	③		
	縮小	⑥			
	休廃止	⑦			
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和2年度事業）

事業コード	150115		担当課	生涯学習課	担当係	文化・文化財係	担当者			
事務事業名	昆虫の森運営事業		事業年度	令和2年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	15	生涯学習	予算科目	款	10	教育費
施策	5	生涯学習		中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項	06	社会教育費
				小	15	昆虫の森運営事業		目	11	昆虫の森費
事務区分	法定受託事務		〇	根拠法令						
	法令による義務付け			関連条例		胎内市昆虫の家条例	関連計画	胎内リゾート活性化マスタープラン		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	・昆虫に関する資料の展示と解説のほか、昆虫に関する学習指導や企画展、体験教室等を行う。
主な実施内容	・常設展の開催 ・企画展の開催 ・ふれあい体験の実施 ・昆虫教室の実施 ・市内学校への出張教室、他団体との共催による事業等を実施
実施方法	市が直接実施+委託

2 事業費の状況（※平成29年度～令和2年度は決算額、令和3年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	10,179	10,995	10,159	9,760	20,954	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	9,700	
その他	6,100	6,320	6,447	7,176	7,393	
一般財源	4,079	4,675	3,712	2,584	3,861	
人件費（千円）	3,564	3,593	3,676	3,669		
正(h)	1,936	1,936	1,936	1,936		
会計年度任用(h)	0	0	0	0		
総事業費+人件費	13,743	14,588	13,835	13,429		
財源「その他」内訳	使用料 5,159千円 売店収入 1,940千円 昆虫教室参加費等 77千円					
事業費の主な支出内容	施設管理委託料 5,196千円 光熱水費 1,548千円 売店材料 1,133千円 消耗品費 610千円 施設管理保守点検委託 365千円 使用料・賃借料 216千円 印刷製本費 136千円 飼料費 115千円 手数料 127千円 燃料費 72千円 保険料 67千円 修繕費 26千円					
単位コスト	算出方法	①利用者一人当たりのコスト（総事業費+人件費/利用者数） ②利用者一人当たりの収支（（事業収入-（総事業費+人件費））/利用者数）				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		①759.82円 ②-422.6円	①806.64円 ②-457.2円	①770.49円 ②-411.5円	①652.24円 ②-303.7円	

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数
	目標	225日	226日	226日	226日	226日
	実績	228日	225日	216日	186日	
成果指標	名称	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数
	目標	24,000人	24,000人	20,000人	20,000人	20,000人
	実績	18,087人	18,085人	17,956人	20,589人	
	目標比	75.4%	75.4%	89.8%	102.9%	

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	△	△	○	◎	
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	令和元年度から目標値を20,000人とし、実績は20,589人で、目標の102.9%を達成した。コロナ禍により4月中旬から5月末まで休館したにもかかわらずこの結果を出せたのはJAF会員対象の優待割引を実施した効果があるとも考えられるが、コロナ禍の特殊な状況によるものだった可能性もある。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

<ul style="list-style-type: none"> ・展示の改善、新規の生態展示を1種行った（水カマキリ）。 ・学校との連携、出張授業等について前年までの回数を維持（ただしR2年度はすべて中止） （以上、いずれもコスト増加は無し） ・虫とりチャンピオン大会スペシャルin奥胎内を実施（H30実施費約500千円） ・日本自動車連盟（JAF）との契約で会員対象の入館料割引を実施。PRを強化
<p>【R2 実施事業】※コロナ禍でも実施できた事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チョウに餌をあげてください ・夏休み特別展「巨大カブト・クワガタ大集合」 ・観察会「マツムシの声を聴く会」

6 事業の課題

<p>施設、設備の老朽化（辺地債により旧館空調は更新の予定）が進んでおり、展示のリニューアルなども検討課題と言える</p> <p>様々な教育関連事業への連携、協力依頼は増える傾向にあるが、人員削減・管理委託の影響もあり展示内容は大きな変更がしにくい状態にある。PRや新しい企画などで利用者増を図る必要がある。</p>
--

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	②	③	③	②	
<p>人気施設であり、市のPR、観光、教育いずれにも有用な施設と言えるが、様々な教育関連事業への協力依頼は増える傾向にある一方で、人員削減・管理委託の影響もあり展示内容は大きな変更がしにくい状態にある。PRや新しい企画などで利用者増を図る必要がある。</p> <p>また施設・設備の老朽化も大きな課題で、旧館の空調はR3年度に辺地債により実施を予定しているものの、展示のリニューアルなども今後の検討課題と言える。</p> <p>これまでの成果指標の目標値は、現状を考慮すると大きすぎると思われ、20,000人とするのが妥当と思われたので、令和元年度目標より変更した。</p>					

8 二次評価委員会所見

成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
		削減	縮小	維持
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和2年度事業）

事業コード	150116		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者			
事務事業名	市民講座学級事業		事業年度	令和2年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	15	生涯学習	予算科目	款	10	教育費
施策	5	生涯学習		中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項	06	社会教育費
				小	16	市民講座学級事業		目	04	公民館費
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意			関連条例	関連計画		胎内市教育振興基本計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市民が新しい知識と教養を深め、また交流をはかることを目的として高齢者大学を通年開催するほか、マナビップ講座など随時主催事業を開催し、市民にとって興味・関心のある講座を行う。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者大学の開催 ・マナビップ講座等の開催
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	○	○	△	×	
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない コロナ禍により、高齢者大学の開講式が遅れ開催回数が減り、参加者が大幅に減少した。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

平成29年度より、そば打ち教室を開催し、普段あまり公民館事業に参加することのない年齢層の利用者の増加に努めている。

2 事業費の状況（※平成29年度～令和2年度は決算額、令和3年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	347	414	339	351	863	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	
その他	25	10	36	55	40	
一般財源	322	404	303	296	823	
人件費（千円）	1,266	1,290	1,319	847		
正(h) ※事業費	672	680	680	432		
会計年度 ※事業費任用(h)	35	33	33	32		
総事業費+人件費	1,613	1,704	1,658	1,198		
財源「その他」内訳	学級講座等参加費 55千円					
事業費の主な支出内容	消耗品費 197千円 講師謝礼 100千円 通信運搬費 39千円					
単位コスト	算出方法	高齢者大学学生1人あたりのコスト 事業費（一般財源）+人件費/延べ参加者数				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		1,222円	1,192円	1,716円	2,968円	

6 事業の課題

若年層の公民館事業への参加を促すための事業、イベントの開催が必要。

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	高齢者大学開催地区数	高齢者大学開催地区数	高齢者大学開催地区数	高齢者大学開催地区数	高齢者大学開催地区数
	目標	4地区	4地区	4地区	4地区	4地区
	実績	4地区	4地区	4地区	4地区	
成果指標	名称	高齢者大学延出席者数	高齢者大学延出席者数	高齢者大学延出席者数	高齢者大学延出席者数	高齢者大学開催地区数
	目標	1,450人	1,450人	1,450人	1,450人	1,450人
	実績	1,299人	1,421人	945人	385人	
	目標比	89.5%	98.0%	65.1%	26.5%	

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	③	③	③	
・高齢者に偏った事業のみではなく、公民館利用者層の幅を広げるため、若年層をターゲットにした事業を企画する。					

8 二次評価委員会所見

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和2年度事業）

事業コード	150117		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者			
事務事業名	図書館管理事業		事業年度	令和2年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	15	生涯学習	予算科目	款	10	教育費
施策	5	生涯学習		中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項	06	社会教育費
				小	17	図書館管理事業		目	06	図書館費
事務区分	法定受託事務		根拠法令	図書館法、図書館法施行令、図書館法施行規則						
	法令による義務付け		関連条例	胎内市図書館条例		関連計画	胎内市教育振興基本計画、胎内市子ども読書推進計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	図書館を運営し市民に図書資料や情報等の提供と学習の場を提供する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 資料収集、保存 資料貸出（一人5冊まで、2週間） 土、日曜日の開館 夜間開館時間の延長（火～金、19時まで開館） リクエスト制度 レファレンス 相互貸借（他館への貸出、他館からの借受） 団体貸出（小中学校等への貸出） 市内小中学校図書室の環境整備、読書指導等（担当の司書が巡回） 施設の維持管理
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（※平成29年度～令和2年度は決算額、令和3年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	19,470	21,211	20,264	24,610	23,557
国・県支出金	5,000	5,000	5,000	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	129	123	117	113	103
一般財源	14,341	16,088	15,147	24,497	23,454
人件費（千円）	6,620	6,990	6,485	7,137	
正(h)	3,596	3,766	3,415	3,766	
会計年度任用(h)	7,329	7,203	7,008	7,739	
総事業費+人件費	26,090	28,201	26,749	31,747	
財源「その他」内訳	図書館使用料16千円 敷地使用料59千円 コピー代21千円 雇用保険料17千円				
事業費の主な支出内容	会計年度任用職員給料 7,212千円 図書 3,772千円 光熱水費 2,362千円 図書館情報システム賃借料 2,178千円 図書館情報システム保守点検委託料 915千円 消耗品費 960千円 清掃業務委託料 487千円 施設管理委託料 446千円 施設整備工事 1,848千円 備品購入費1,280千円				
単位コスト	算出方法				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	年度末蔵書冊数	年度末蔵書冊数	年度末蔵書冊数	年度末蔵書冊数	年度末蔵書冊数
	目標	75,000冊	75,000冊	75,000冊	75,000冊	75,000冊
	実績	84,494冊	85,929冊	86,973冊	88,886冊	
成果指標	名称	年間貸出冊数	年間貸出冊数	年間貸出冊数	年間貸出冊数	年間貸出冊数
	目標	75,000冊	80,000冊	70,000冊	70,000冊	70,000冊
	実績	65,185冊	64,903冊	62,177冊	54,447冊	
	目標比	86.9%	81.12%	88.73%	77.78%	

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	○	○	○	△	
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 成果指標の実績値（貸出冊数）、目標値とも、前年度と比較して10%以上の減少となった。令和2年度に関しては新型コロナウイルス感染症の流行状況の影響が大きいように思われる。臨時休館や夜間の延長開館を休止した時期があったことに加え、特に緊急事態宣言解除直後の6月や、新潟県内の感染者が増加していた冬季間では減少幅が大きく、年度内を通して前年の同じ月を上回ったことはなかった。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

子ども読書推進計画に基づき事業を実施しているほか、胎内市・新発田市・聖籠町定住自立圏の形成に係る協定による2市1町の図書館の相互利用が可能となった。また、30年度からは広域連携協定に基づき、新潟市の図書館とも相互利用が可能になった。

6 事業の課題

①「4. 達成度」の項でも書いたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行に伴う影響が大きい。ただし、これまでの実績値を見ても貸出冊数は減少を続けている傾向にはあり、現在も基本的にその傾向が続いているものと考えている。

②施設は、耐震補強を行ったものの施設の老朽化自体は進んでおり、また元々図書館として造られた建物ではないところから利便性・機能性も悪く、蔵書・書架の増加に伴い、全体的に手狭となっている。

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	③	③	③	
①これまでどおり、貸出利用の少ない若年層（中学生から20代くらいまで）と、主要な利用層（30代以上）への働きかけを行い利用者数の底上げをしていく必要性はあると考えているが、外出自粛の影響で足が遠のいたと思われる既存の利用者についても、何らかの形で働きかけを行う必要があると思う。					
②施設については、長期的観点での施設整備の検討（新築・移設・改修等）を行う。					

8 二次評価委員会所見

今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
		削減	縮小	維持
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和2年度事業）

事業コード	150118		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者			
事務事業名	環境改善センター管理運営事業		事業年度	令和2年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	15	生涯学習	予算科目	款	06	農林水産業費
施策	5	生涯学習		中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項	01	農業費
				小	18	環境改善センター管理運営事業		目	03	農村環境改善センター費
事務区分	法定受託事務		〇	根拠法令						
	法令による義務付け			関連条例	胎内市築地農村環境改善センター条例、胎内市役所諸証明交付所条例		関連計画	胎内市教育振興基本計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市民に諸証明交付等の行政サービスを提供するとともに、公民館事業の実施や交流活動を促進する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営 諸証明交付 公民館事業の企画 図書の貸出し 地域住民の交流活動の場の提供
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	○	○	○	△	
評価の理由	R2年度については、コロナ禍により4月、5月の間に約1カ月間休館を余儀なくされたこと、多目的ホール天井の耐震工事のため使用できない期間があったことなどもあり、目標を達成できていない。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

地域に親しまれる施設を目指しニーズを取り入れ、高齢者大学などの事業を行った。コロナ禍でクッキング等の恒例事業ができない中、おりがみや苔玉など、実施可能な事業を行った。

2 事業費の状況（※平成29年度～令和2年度は決算額、令和3年度は当初予算額）

総事業費（千円）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	4,901	7,121	12,053	12,024	12,024
国・県支出金	0	0	0	0	0
地方債	0	0	5,000	0	4,400
その他	15	9	15	4,874	474
一般財源	4,886	7,112	7,038	7,150	7,150
人件費（千円）	3,295	3,322	3,399	3,392	
正(h)	1,790	1,790	1,790	1,790	
会計年度任用(h)	1,822	1,822	1,822	2,316	
総事業費+人件費	8,196	10,443	15,452	15,416	
財源「その他」内訳	使用料18千円 築地環境改善センター整備事業4,400千円 雇用保険料個人負担金6千円 鹿ノ俣発電所線入金450千円				
事業費の主な支出内容	施設改修工事 30,253千円 管理補助員賃金 2,316千円 光熱水費 906千円 施設管理委託料 317千円 清掃業務委託料 414千円 警備業務委託料 185千円 通信運搬費 68千円				
単位コスト	算出方法	利用者1人あたりのコスト 事業費（一般財源）+人件費/利用者数			
実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	984円	1,300円	1,329円	2,094円	

3 指標値の状況

産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数
	目標	243日	243日	243日	243日	243日
	実績	271日	290日	272日	258日	
成果指標	名称	施設・図書利用者及び窓口利用者数	施設・図書利用者及び窓口利用者数	施設・図書利用者及び窓口利用者数	施設・図書利用者及び窓口利用者数	施設・図書利用者及び窓口利用者数
	目標	8,000人	8,000人	8,000人	8,000人	8,000人
	実績	8,312人	8,024人	7,847人	5,034人	
	目標比	103.9%	100.3%	98.0%	62.9%	

6 事業の課題

築年数が33年経過し施設の老朽化が進んでいる。H30年度からR2までに屋上防水工事、多目的ホール天井の耐震改修工事を行っており、他にも修繕が必要な箇所があるので計画的な修繕が必要である。

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	③	③	③	
施設利用者が減少傾向にあり、現在行っている事業以外にも施設の魅力を生かした新たな企画を行い、施設利用の需要を増やす。市が指定する一次避難所として、施設の老朽箇所に向け今後も修繕を行う。					

8 二次評価委員会所見

今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
		削減	縮小	維持
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和2年度事業）

事業コード	150119		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者			
事務事業名	一般経費中央公民館		事業年度	令和2年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	15	生涯学習	予算科目	款	10	教育費
施策	5	生涯学習		中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項	06	社会教育費
				小	19	一般経費中央公民館		目	04	公民館費
事務区分	法定受託事務		〇	根拠法令	社会教育法					
	法令による義務付け			関連条例	胎内市公民館条例		関連計画	胎内市教育振興基本計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	学習と仲間作りの拠点施設として学習者、活動者にとって利用しやすい場を提供する。 また、主催事業の開催や、社会教育団体への支援を通じて、文化・芸術活動の振興を図る。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営 公民館事業の企画 社会教育団体に対する支援、育成 各種団体事務局事務
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	○	○	○	△	
評価の理由	R2年度については、コロナ禍により4月、5月の間に約1カ月間休館を余儀なくされたこと、利用団体の消滅、団体内の会員数の減少、また利用回数の減少などにより利用者数は減少傾向にあり目標を達成できていない。				

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

5 改革の実施状況（平成29年度～）

利用の少ない中高年以下の世代を対象とした講座を開催し、公民館の新規利用者の増加に努めている。（親子そば打ち道場や子ども向けイベントの開催）

2 事業費の状況（※平成29年度～令和2年度は決算額、令和3年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	8,512	8,234	8,394	9,571	8,583	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	
その他	337	409	403	364	417	
一般財源	8,175	7,825	7,991	9,207	8,166	
人件費（千円）	2,393	2,413	2,469	2,464		
正(h)	1,300	1,300	1,300	1,300		
会計年度任用(h)	1,200	1,200	1,200	1,200		
総事業費+人件費	10,905	10,647	10,863	12,035		
財源「その他」内訳	中央公民館使用料 310千円 中央公民館敷地使用料 48千円					
事業費の主な支出内容	施設管理委託料 2,017千円 施設整備工事 1,829千円 会計年度任用職員報酬 1,655千円 光熱水費 850千円 清掃業務委託料 477千円 消耗品費 472千円 施設用備品 370千円 修繕費 345千円 会計年度任用職員期末手当 325千円 会計年度任用職員社会保険料 302千円					
単位コスト	算出方法	利用者1人あたりのコスト 事業費（一般財源）+人件費/利用者数				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		478円	465円	507円	885円	

6 事業の課題

新規利用者を増やすための事業の開催、活動団体内の会員減少に歯止めをかけるための支援が必要。

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数
	目標	359日	359日	359日	359日	359日
	実績	359日	359日	330日	329日	
成果指標	名称	中央公民館利用者数	中央公民館利用者数	中央公民館利用者数	中央公民館利用者数	中央公民館利用者数
	目標	23,000人	24,000人	24,000人	24,000人	24,000人
	実績	22,069人	21,974人	20,611人	13,187人	
	目標比	95.9%	91.5%	85.8%	54.9%	

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	③	③	③	
	<ul style="list-style-type: none"> 魅力ある講座を開設し、公民館になじみのない市民に利用してもらうことにより利用者の増加につなげる。 施設の老朽化が進んでおり、利用者からも建て替えの要望が多く出ている。図書館も含めた複合的施設建設の検討を行う。 				

8 二次評価委員会所見

今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
		削減	縮小	維持
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和2年度事業）

事業コード	150120		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者			
事務事業名	一般経費黒川地区公民館		事業年度	令和2年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	15	生涯学習	予算科目	款	10	教育費
施策	5	生涯学習		中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項	06	社会教育費
				小	20	一般経費黒川地区公民館		目	04	公民館費
事務区分	法定受託事務		〇	根拠法令	社会教育法					
	法令による義務付け			関連条例	胎内市公民館条例、胎内市就業改善センター条例		関連計画	胎内市教育振興基本計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	生涯学習を通じて教養を深めるとともに市民に交流を促進する場を提供する。また、地区公民館の企画実施、施設の維持管理と環境整備、利用に関する受付、貸館業務、図書貸出業務、社会教育団体への支援を行う。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・黒川展覧会の開催 ・ふるさと芸能発表会 ・ヤマボウシ大学の実施 ・施設管理
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（※平成29年度～令和2年度は決算額、令和3年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	11,245	11,471	8,596	12,774	8,737	
国・県支出金	0	0	0	3,053	0	
地方債	0	0	0	0	0	
その他	141	193	150	149	136	
一般財源	11,104	11,278	8,446	9,572	8,601	
人件費（千円）	902	965	4,439	2,691		
正(h)	490	520	1,890	1,420		
会計年度任用(h)	5,072	4,282	1,000	1,700		
総事業費+人件費	12,147	12,436	13,035	15,465		
財源「その他」内訳	使用料 100千円					
事業費の主な支出内容	施設整備工事 4,635千円 光熱水費 1,463千円 パート会計年度任用職員（一般職） 1,389千円 修繕費 956千円 施設管理委託料 764千円 施設用備品 656千円 樹木等維持管理委託料 493千円 図書 394千円 清掃業務委託料 365千円 空調設備保守点検委託料 299千円 施設管理保守点検委託料 244千円 消耗品費 236千円					
単位コスト	算出方法	利用者1人あたりのコスト 事業費（一般財源）+人件費/利用者数				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		1,396.70円	1,262.95円	1,253.77円	1,980.78	

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数
	目標	359日	359日	359日	359日	359日
	実績	359日	359日	330日	323日	
成果指標	名称	利用者数	利用者数	黒川地区公民館利用者数	黒川地区公民館利用者数	黒川地区公民館利用者数
	目標	8,000人	9,000人	9,000人	9,000人	9,000人
	実績	8,596人	9,694人	10,277人	6,191人	
	目標比	107.5%	107.7%	114.2%	68.8%	

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	◎	◎	◎	△	
評価の理由	新型コロナウイルス感染症の影響で、4～5月に臨時休館となった事、利用団体のキャンセル・利用中止及び図書室利用者の減少、ふるさと芸能発表会の中止などあり、利用人数が減少し目標を達成できなかった。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

事業の充実を図るべく、財源を確保し、施設の修繕を継続して行っている。

[R1]

- ・社会教育係の一部職員を黒川地区公民館に移動し、受付等管理経費を削減（前年比約4,500千円減）。
- ・黒川展覧会、ふるさと芸能発表会については、新規参加者の獲得に向けて高齢者大学やにこ楽胎内に呼びかけを行い、各1名ずつ増加した。

6 事業の課題

施設の老朽化が著しく、建物の維持管理にかかる経費が多くかかっている。順次修繕は行っているが、追い付いていない。また、高圧受変電設備、非常用発電機等の早期改修が必要となるが、今後の施設利用と営繕のバランスを取りながらどうするか検討が必要である。

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	⑤	⑤	③	③	
<ul style="list-style-type: none"> ・築45年が経過し、建物及び設備の老朽化が著しく、最低限の施設改修を検討していく。 					

8 二次評価委員会所見

土、日、祝日の図書室の開館について、利用者の状況などを検証し、継続していく必要があるかどうか検討すること。

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和2年度事業）

事業コード	150121		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者					
事務事業名	乙地区交流施設管理運営事業			事業年度	令和2年度		会計区分	一般会計				
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	15	生涯学習	予算科目	款	10	教育費	
施策	5	生涯学習			中	01	市民が参加しやすい多様な学習機会の提供		項	06	社会教育費	
					小	21	乙地区交流施設管理運営事業		目	13	乙地区交流施設費	
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令							
	法令による義務付け		任意		関連条例		胎内市乙地区交流施設条例	関連計画	胎内市教育振興基本計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市民に諸証明交付等の行政サービスを提供するとともに、公民館事業の実施や交流活動を促進する。
主な実施内容	施設の管理運営及び諸証明交付や公民館事業の企画実施、図書の貸出を行い、地域住民の交流活動の場を提供。
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	◎	◎	◎	△	
評価の理由	コロナ禍の影響により利用人数の制限、活動自粛等があり未達となった。				

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

5 改革の実施状況（平成29年度～）

市民が利用しやすい施設としての運用を心掛け、子どもクッキング教室などの子ども向けイベントを開催するなど、ニーズを取り入れた事業を実施している。

2 事業費の状況（※平成29年度～令和2年度は決算額、令和3年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	4,649	4,648	5,223	5,813	5,278	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	
その他	125	67	61	30	78	
一般財源	4,524	4,581	5,162	5,783	5,200	
人件費（千円）	5,084	5,141	5,223	5,305		
正(h) ※事業費	1,900	1,900	1,900	1,900		
会計年度 ※事業費	1,900	1,900	1,900	1,900		
任用(h) ※事業費						
総事業費+人件費	9,733	9,789	10,446	11,118		
財源「その他」内訳	使用料 55千円					
事業費の主な支出内容	管理補助員賃金 1,993千円 光熱水費 966千円 施設管理保守点検委託料 555千円 清掃業務委託料 271千円 修繕費 270千円 施設管理委託料 141千円 通信運搬費 122千円 火災保険料 102千円					
単位コスト	算出方法	利用者1人あたりのコスト 事業費（一般財源）+人件費/利用者数				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		904.36円	1030.1円	1021.8円	1666.6円	

6 事業の課題

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数
	目標	243日	243日	243日	243日	243日
	実績	273日	278日	270日	277日	
成果指標	名称	施設利用者数	施設利用者数	施設・図書利用者及び窓口利用者数	施設・図書利用者及び窓口利用者数	施設・図書利用者及び窓口利用者数
	目標	7,000人	8,000人	8,000人	8,000人	8,000人
	実績	10,769人	9,503人	10,063人	6,653人	
	目標比	153.8%	118.8%	125.8%	83.1%	

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	③	③	③	
市民講座については、アンケートの結果などを基にニーズに即した事業を計画し、飽きられないような事業実施を継続していく。					

8 二次評価委員会所見

今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
		削減	縮小	維持
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和2年度事業）

事業コード	150210		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者			
事務事業名	社会教育振興事業		事業年度	令和2年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	15	生涯学習	予算科目	款	10	教育費
施策	5	生涯学習		中	02	市民による自主的な活動の育成・支援		項	06	社会教育費
				小	10	社会教育振興事業		目	01	社会教育総務費
事務区分	法定受託事務		根拠法令	社会教育法						
	法令による義務付け		努力義務+任意	関連条例	胎内市社会教育委員条例ほか		関連計画	胎内市教育振興基本計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	社会教育委員の委嘱により、市民のニーズに沿った社会教育関係事業の企画や有効性の検討、また、社会教育関係団体の支援により生涯学習の振興を図る。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育関係団体の育成、支援、補助金交付 社会教育関係事業等の検討、助言、調査研究
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	○	○	○	○	
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 成果指標については目標を概ね達成しており、今後も維持向上に努める。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

市民の意見を事業に反映させるため、社会教育委員からの意見を取り入れ、また、事業の運営等にもかかわってもらいながら、社会教育団体同士の情報交換や交流を図る事業を行なっている。

2 事業費の状況（※平成29年度～令和2年度は決算額、令和3年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	1,013	726	1,455	625	933
国・県支出金	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,013	726	1,455	625	933
人件費（千円）	129	128	133	161	
正(h) ※事業費	70	60	70	85	
会計年度任用(h) ※事業費	0	20	0	0	
総事業費+人件費	1,142	854	1,588	786	
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	報酬 136千円、報償費 40千円、旅費 16千円、消耗品費 314千円、使用料及び賃借料 7千円、負担金補助及び交付金 112千円				
単位コスト	算出方法				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度

6 事業の課題

社会教育認定団体数について、現状、目標はほぼ達成しているが、団体の構成メンバーの高齢化、固定化が進んでいるため、今後減少が予想される。

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	社会教育委員会開催回数	社会教育委員会開催回数	社会教育委員会開催回数	社会教育委員会開催回数	社会教育委員会開催回数
	目標	3回	3回	3回	3回	3回
	実績	3回	3回	3回	3回	
成果指標	名称	社会教育認定団体数	社会教育認定団体数	社会教育認定団体数	社会教育認定団体数	社会教育認定団体数
	目標	44団体	44団体	44団体	44団体	44団体
	実績	42団体	41団体	43団体	41団体	
	目標比	95.5%	93.2%	97.7%	93.2%	

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	③	③	③	
市民のニーズを把握するとともに、社会教育委員に事業の運営等にも参加してもらうことで事業に対する意見いただき、それらを合わせ事業計画に反映させる。また、講座・イベントなどの実施については、社会教育団体を巻き込み、連携・協働することで団体の成長を促すことも併せて行う。					

8 二次評価委員会所見

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和2年度事業）

事業コード	150212		担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係	担当者					
事務事業名	生涯学習フェスティバル事業			事業年度	令和2年度		会計区分	一般会計				
基本政策	1	子育て・教育・学び		事業コード	大	15	生涯学習	予算科目	款	10	教育費	
施策	5	生涯学習			中	02	市民による自主的な活動の育成・支援		項	06	社会教育費	
					小	12	生涯学習フェスティバル事業		目	02	生涯学習推進費	
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令							
	法令による義務付け		任意		関連条例		関連計画	胎内市教育振興基本計画				

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	11月を「生涯学習強調月間」として、市民の日々の生涯学習の成果を発表する場を提供するとともに、学習活動への参加を促進し、生涯学習の振興を図る。
主な実施内容	参加団体を実行委員会を組織し、期間中に行われる文化、芸術、産業、スポーツなど、市民参加の生涯学習イベントを産業文化会館を中心とした市内各施設で開催する。
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	○	○	○	×	
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	生涯学習の日ごろの成果を発表する場として大変良い機会となっているが、令和2年度はコロナ禍の影響により、市民音楽祭等、催し物の多くが中止となった。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

令和2年度も新規参加団体の増加へ向け、昨年度に引き続きポスター等を使っての募集活動を行ったが、コロナ禍の影響により、会場の入場制限や参加団体の活動休止等により参加団体数は13団体となった。

2 事業費の状況（※平成29年度～令和2年度は決算額、令和3年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	428	423	343	298	492
国・県支出金	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	428	423	343	298	492
人件費（千円）	2,393	2,413	2,469	2,464	
正(h) ※事業費	1,300	1,300	1,300	1,300	
会計年度 ※事業任用(h)	0	0	0	0	
総事業費+人件費	2,821	2,836	2,812	2,762	
財源「その他」内訳	印刷製本費 115千円 職員手当等87千円 手数料36千円				
事業費の主な支出内容	印刷製本費 115千円 職員手当等87千円 手数料36千円				
単位コスト	算出方法				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度

6 事業の課題

- ・フェスティバル開催期間は産業文化館の貸切使用の可能が原則だが、実際は市の事業を優先しなければならない。
- ・時期的にイベントが多いことで土日の日程の確保が難しい。そのため20日間という長期の開催期間となっている。

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	フェスティバル開催日数	フェスティバル開催日数	フェスティバル開催日数	フェスティバル開催日数
	目標	20日間	20日間	20日間	20日間
	実績	20日間	18日間	20日間	23日間
成果指標	名称	来場者数	来場者数	来場者数	来場者数
	目標	7,000人	7,000人	7,000人	7,000人
	実績	8,327人	8,394人	8,752人	2,257人
	目標比	119.0%	119.9%	125.0%	32.2%

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	③	③	③	
他市町村のフェスティバル事業の開催状況などを参考に、日程調整の面や事務的負担などを考慮し、開催期間の短縮を検討したい。また、今後フェスティバルの実施にあたって、各参加団体に対し一層の協力を促し、市民と行政が一体となってフェスティバルが開催できるよう取り組む。					

8 二次評価委員会所見

今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
	削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性				